



【3・4・5月の主催行事】

春のイベント情報



牛久自然観察の森
季刊情報誌



森のしんぶん

春号 No278

赤ちゃん限定

赤ちゃん木育ひろば

3/4日 休園日特別開催

木育ひろばのレクチャーと成長に合わせたおもちゃの紹介をします。ひろばで楽しく遊ぶ笑顔の写真撮影も行います。

開催時間：午前10時～11時

対象：6カ月以上1歳未満の乳児とその保護者

参加費：大人1人500円

定員：8組

集合場所：ネイチャーセンター木育広場

申し込み：電話にて事前予約

講師：SoundGiftShop音賜
三浦ちよ子さん



絵本の読みきかせ会 森でランチ

3/8日 金 「小さな春、みつけた♪」

4/12日 金 「春の野原でこんにちは」

5/10日 金 「葉っぱの香り、どんな香り？」

広い野原でお弁当を食べて絵本を楽しみましょう。季節に合った自然の紹介と手遊び、わらべ歌で遊びましょう。

時間：正午～午後1時

対象：乳児～幼児とその保護者

参加費：無料（予約不要）

集合場所：バツの原

持ち物：お弁当、飲み物

申込み：予約不要・当日受付

備考：雨天時、強風時は中止。



昆虫イベント ha こちら♪

家族昆虫教室 3/9日

「春に見られる昆虫を探しにいこう！」

暖かくなると小さな昆虫が動き出します。運が良ければ春にしか見られない昆虫が見つかります。

開催時間：午前9時30分～10時30分

対象：小学生とその家族

参加費：1家族500円

定員：10組

集合場所：ネイチャーセンター

申し込み：電話にて事前予約

備考：雨天時中止



カブトムシ飼育講座 5/11、5/18日

カブトムシが再び「観察の森」に里帰りできるように、幼虫の育成に挑戦しよう！幼虫を飼育するコツも一緒に学びましょう。

時間：午前10時～、正午～、午後2時～(各回約40分の内容です)

集合場所：ネイチャーセンター

対象：カブトムシの幼虫を初めて飼育する親子
(主に幼児、小学生低学年向け)

定員：各回15組

参加費：1セット2000円(こども1人につき1セット)
※カブトムシ2匹と成虫になるまでに
必要な簡易飼育容器、土を含みます。

申込み：電話にて事前申し込み



どなたでも歓迎

バードウォッチング

園内と園外の田んぼと小野川沿いの約3キロの多様なコースを2時間かけてゆっくりと歩きます。

3/17日 午前9時～11時

4/21日 5/19日 午前9時～10時30分

対象：一般 参加費：無料

備考：双眼鏡の無料貸出有り。

雨天、強風時は中止。

協力：牛久とりの会



生き物ミニガイド

『ネイチャーセンター』周辺や『バツの原』に生息する昆虫や生き物の生態観察や解説を行ないます。

日程：4月以降の不定期の土曜日、日曜日
※開催日はHPに掲載いたします。

開催時間：午前9時30分～10時、
午後1時～1時30分

対象：身近な生き物の観察をしたい親子

定員：なし 参加費：無料

集合場所：牛久自然観察の森ネイチャーセンター前

申込み：予約不要 備考：雨天時中止



写真展のご案内

牛久自然観察の森を拠点に、県南地域で撮影したネイチャーフォト写真展を開催。愛らしい小鳥達や迫力のある猛禽類など野鳥の生態写真が中心です。

※入場無料

日程：3/5(火)～3/12(火) 午前9時～午後4時

開催場所：生涯学習センター展示ホール

備考：3/11(月)は休館日、12(火)は午後3時まで

主催：牛久ネイチャーフォトクラブ

共催：牛久自然観察の森



イベント情報は
公式HPでも
ご覧いただけます。

申し込み & お問い合わせ

029-874-6600

休園日

3月：4日(月)、11日(月)、18日(月)、22日(金)、25日(月)

4月：1日(月)、8日(月)、15日(月)、22日(月)

5月：7日(火)、13日(月)、20日(月)、27日(月)

開園時間 9:00～16:45 (11月～11月は16:00迄)

生き物 カレンダー

3月、4月、5月に
見られる代表的な
生き物を月ごとに昆虫、植物、野鳥の
順に並べています。



ビロードツリアブ (3月)
空中にとまりながら花の蜜をすっているところを見かけ。春にしか見られない。



ニリンソウ (3月)
2つの花を咲かせる事が多いことから名前がついた。花を咲かせた後は根以外枯れる。



ウグイス (3月)
3月頃から初鳴きが聞こえるようになる。冬もいるが鳴き声が違い気付かれることは少ない。



モンシロチョウ (4月)
春から出てくるチョウ。バッタの原で見かける事が多い。スジグロシロチョウなど似ている種もいるので、じっくりと観察してみよう



クサボケ (4月)
低木だが、花がオレンジで春の雑木林の中ではよく目立つ。ボケに似てさらに小さい事から名前がついたと言われる。



コゲラ (4月)
巣穴は10月頃から掘られる。木の枯れ枝に掘られる事が多い。子育て時は遠くから観察しよう。



ヤブヤンマ (5月)
ネイチャーセンターの中に飛び込む事が多い。センター前の池で羽化していることがある。



ヤマブキ (5月)
5月頃から咲き始める。生垣に使用されて美しい。八重品種もある。



サンコウチョウ (5月)
旅鳥として飛来することがある。オスは尾が長く、鳴き声は美しい。鳴き声を覚えると見つけやすい。

木育担当の「木になる」おもちゃ

「さかなつり」

2018年に登場した「さかなつり」。丸い池にいろんな形の魚、タコ、エビがいます。製作は木真真工房（愛知県豊橋市）。

丈夫でそして独自に創意工夫された木のおもちゃを製作しています。魚たちは数種類の木の色で表現されていて、しかも一部、体に動きがあるため愛嬌があり、作家の方の発想力と技術力に驚かされます。

一番のおすすめはウナギ、体が本当のウナギのようにくねくねと動かします。そして釣り方にも工夫があり、釣り針の役目が丸い玉で、それを魚の穴に入れ、切れ込みに引っ掛けて吊り上げます。魚たちの見張り番の木彫りのクマに乗って釣りを楽

しみましょう。

子どもたちが釣った魚をクマに食べさせてあげている姿は、微笑ましいものです。



生き物ぴっくあっぷ

バッタの原の生き物紹介

～ トカゲ&カナヘビの巻 ～

春チョロチョロと草の中を走っていくカナヘビ。「恐竜みたい」と子ども達に大人気の小さな爬虫類ですが、

ここで問題です！

①と②の写真の、どちらがカナヘビ？



①



②

正解は

①番がカナヘビ。正式名称はニホンカナヘビ
②番の写真は、ニホントカゲ（幼体）です。
姿、形が似ているニホンカナヘビとニホントカゲ。どっちがどっち？と混乱してしまう方も。体の特徴や卵の産み方、住んでいる場所などを知ると見分ける事ができるのでそのポイントをご紹介します。

ニホンカナヘビは茶色い体で表面のうろこが目立ち、ガサガサ、ザラザラ。しっぽは長くて体と同じ位の長さがあります。舌の先が二股に分かれていて、メスは卵を産むと、どこかに行ってしまう。観察の森では、低い草が生えているバッタの原や梅林で見られます。

ニホントカゲはつやつや、ツルツルした体で光沢がありしっぽは体長の半分。ずんぐりした体

つき。舌先は分かれていず、子ども時代はしっぽが綺麗なメタリックブルー。メスは卵が孵化するまで世話をします。観察の森では観察舎まわりの畑で見られます。

どちらも危険を察知すると身代わりにしっぽを切り離して逃げて行くことがあります。しっぽは、再生しますが少し細くなってしまうので観察するときは、しっぽが切れないように優しくキャッチしましょう。

ネイチャーセンター中央のテラリウム水槽にはアカハライモリがいます。「ヤモリ？イモリ？あれ？トカゲとどう違うの？」と？？になった方は、ぜひ調べてみてくださいね。(文/自然解説員 金久)